

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北陸)	◎	都市型ホテル (役員)	来客数の動き	・個人客が順調に回復しており、稼働率は3か月連続で新型コロナウイルス感染症発生前の8割の水準となっている。団体客はスポーツ関連での予約が増えており、新型コロナウイルス発生前の5割の水準まで回復している。本格的な夏休みシーズンに期待している。
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症による影響が一段落し、梅雨明けもしたことから、夏物商材の需要に勢いが出てきたが、月末頃から天候が不順となり、更に新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が一気に増加している状況である。今回は新型コロナウイルス感染症対策のための行動制限がないため今までとは状況が違おうようだが、不安定さは残っている。
	○	一般小売店〔鮮魚〕 (役員)	販売量の動き	・直近は行動制限などがなく、販売量は徐々に回復している。
	○	コンビニ（店舗管理）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の第7波の影響が顕著で、夕方以降の来客数が激減している。しかし、日中の来客数は3か月前と比べても落ち込みはみられない。
	○	観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・売上は前年同月比では405%であるが、新型コロナウイルス感染症発生前との比較では64%の水準で、まだ苦しい状況が続いている。また、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大前は先行きに期待していたが、全国旅行支援などが延期となり先行きが不安である。
	○	タクシー運転手	来客数の動き	・7月に入り、新型コロナウイルスの新規感染者数が急増したことで更に警戒感が強まっている。これまで以上に不要な外出をしなくなり、売上が減少している。
	□	一般小売店〔書籍〕 (従業員)	来客数の動き	・値上がりした商品が非常に多く、来客数、販売量共に大きく落ち込んでいる。
	□	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・7月中旬以降の新型コロナウイルス新規感染者数の急増に伴い、外出を控える傾向が強まって店内は閑散としている。また、前月まで店全体の売上がけん引していたラグジュアリーブランドも円安による値上げを実施したため、これまでの勢いが止まっている状況である。
	□	百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・今月初めにかけてのクリアランスセールで夏物商材が好調に推移し、徐々にアパレルに動きが出たようにみえたが、中盤以降は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い高齢者を中心とした来客数が減少し、月末に近づくにつれて売上にも影響が出始めている。一方で、輸入化粧品やブランド品のジュエリーで、値上がり前の駆け込み消費のような動きが見られる。
	□	スーパー（店長）	販売量の動き	・買上点数、来店頻度共に若干の減少傾向が続いているが、値上げによる単価アップで、何とか前年の売上がキープしている。
	□	スーパー（総務担当）	お客様の様子	・夏休みに入りバーベキューなどの季節になったが、新型コロナウイルスの新規感染者数が増加し始め、イベント需要などが増えていない。
	□	スーパー（仕入担当）	単価の動き	・買上点数はダウンしているが、メーカーからの相次ぐ価格改定で単価が大幅にアップしていることから、売上は横ばいの状況である。
	□	スーパー（統括）	それ以外	・エネルギー価格の高騰や個人消費の回復の鈍さによって、ウィズコロナによる経済正常化の動きが相殺されており、結果として変化はないとみている。
□	コンビニ（店長）	来客数の動き	・3か月前から新型コロナウイルス感染症による影響が薄れ、ここ数年で一番の回復傾向にある。売上は新型コロナウイルス感染症発生前までは回復していないが、7月も引き続き黒字の状況が続いている。しかし、最近では新型コロナウイルスの感染再拡大により週末の売上が激減しており、7月の最終週の状況をみていると、8月はかなり売上が減少するのではないかと懸念している。	

□	衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の第7波の影響で客足は半減しており、売上は極端に減少している。
□	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・引き続き新車の入荷状況が悪く、納期が不安定な状態が続いている。新型車の発表はあったが、納期遅れが続いており、販売量の確保が困難になっている。
□	乗用車販売店 (役員)	お客様の様子	・減産の影響による納車遅れが続いていることで、客の購買意欲に陰りを感じる。また、新型コロナウイルスの感染拡大による警戒感により、消費活動にもブレーキが掛かりつつあることが気掛かりである。
□	観光型旅館(経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数の増加に伴い、予約のキャンセルが増えているが、行動制限がないため新規予約も入ってきている。
□	通信会社(職員)	お客様の様子	・景気の話は客から特に出していない印象を受ける。
□	通信会社(営業担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響はほぼ感じられず、来店客はいる。ただし、販売につながらない。オンラインでの購入に流れている客が多いのではないかと考える。
□	通信会社(役員)	単価の動き	・電子機器等の価格上昇を料金に転嫁できない状況である。客のサービス加入意欲が減少する懸念が出ている。
□	その他レジャー施設 [スポーツクラブ] (総支配人)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の第7波による新規感染者数の増加でコロナ禍の困難さがぶり返しており、客からは諦めのような雰囲気伝わってくる。夏休みに入っている特別教室への参加は前年と比べれば少し良くなっているが、例年の7割程度である。
□	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・物価上昇や、入手できない部品が増えている等の状況が多くの人に認識されており、駆け込みでリフォームしたり設備機器を交換したりする客が増えている。
□	住宅販売会社 (従業員)	単価の動き	・物価や建築資材の高騰で、住宅価格が落ち着かない状況である。
▲	商店街(代表者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の急増を受け、商店街の通行量が減少している。夏休みということで小さな子供がいる家族連れが多く、以前のように全く誰も歩いていない状況ではないのが多少の救いである。
▲	百貨店(販売担当)	来客数の動き	・7月前半はセールの開始により比較的順調に来客数が増加したが、7月中旬以降は異常な高温と新型コロナウイルスの感染拡大で来客数が減少した。後半は特に高齢者と10代の来客数が減少しており、必需品を購入するための来店は継続しているが、全体として来客数は減少傾向にある。また、旅行や帰省をする人向けの企画をして商材を確保したが、全く動きがなく大きくマイナスとなっている。
▲	衣料品専門店 (経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が急増しており、回復傾向にあった販売業に水を差した状態になっている。
▲	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が客の動向に影響している。
▲	家電量販店(本部)	販売量の動き	・7月に入ってから、エアコンなどの季節関連商材の売上が非常に厳しくなっている。
▲	自動車備品販売店(役員)	お客様の様子	・景気が回復してきたようにみえたが、各種値上げや新型コロナウイルス感染症の第7波による感染拡大の影響で、購買客の様子をみると景気は後退しているように見える。
▲	その他専門店 [酒] (経営者)	販売量の動き	・何もかも値段が上がり大変な状況になっていたところに、新型コロナウイルス感染拡大の影響で10日間商売ができなくなった。日本中で新規感染者数が増加しており、どこで感染するか分からず、本当に大変な時代である。

	▲	その他小売 [ショッピング センター] (統 括)	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の第7波の影響は従業員にも及び、スタッフが安定的に出勤できない店舗が発生するなど、運営に支障が出るケースが発生している。消費に関しては晴れの場が少なくなり、日常生活中心の身近な消費行動が続いている。その一方で、夏休みを屋外で過ごすケースが増えているためか、レジャー系商材や外出時の便利グッズなどが堅調に推移している。
	▲	一般レストラン (統括)	それ以外	・新型コロナウイルスの感染が再拡大している。国は行動制限をしない方針で進んでいるが、マスクが報道で騒ぎ立てるため、感染状況が落ち着いていた6月と比べて消費者の外出利用や夜の外出が減っていると感じる。また、観光地である当市は、7月の3連休を境に観光客が激減している。
	▲	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の第7波による感染の急拡大で、人出が減少している。
	▲	通信会社(役 員)	来客数の動き	・3か月前の契約者数は、放送、通信共に前年同月と比べて増加していたが、7月は前年同月と同数程度になっている。
	▲	テーマパーク (役員)	来客数の動き	・行動制限はされていないが、新型コロナウイルスの感染拡大によって客の動きがやや鈍くなっており、やや悪くなっている状況である。
	▲	パチンコ店(経 理)	販売量の動き	・売上が減少傾向にある。
	▲	美容室(経営 者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者になったとか、子供が通っている小学校が休校になったなどで、予約客のキャンセルが増加している。
	▲	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・今後、更に住宅価格が高騰するとの思わくから、今のうちに購入した方が良いとの駆け込み受注の印象を受けていたが、さすがにその力も弱まっており、今後の受注額は減少するとみている。
	▲	住宅販売会社 (営業)	お客様の様子	・4月以降受注の低迷が続いている。価格高騰の影響か、商談客の動きが鈍化しており、ますます落ち込みが進んでいる。
	×	商店街(代表 者)	来客数の動き	・夏休みにもかかわらず、人出が激減している。買物客は散策することもなく、用事を済ませるとすぐに帰途についており、全くお手上げの状態である。
	×	スーパー(店舗 管理)	来客数の動き	・人口が減少していない地域でも来客数の減少が続いている。キャンペーン等を行っても、その後の売上が非常に大きく減少するため、費用対効果が現れていない。
	×	家電量販店(店 長)	販売量の動き	・気温が上昇しないため、エアコンなどの夏物商材が苦戦している。
	×	住関連専門店 (役員)	販売量の動き	・景気が悪くなっている最大要因は、来客数とともに買上客が減少していることである。
	×	高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加するとともに来客数が減少するため、感染が拡大し始めた7月中旬から集客にブレーキが掛かり出し、新型コロナウイルス感染症発生前と比べて約80%の集客となっている。
	×	スナック(経営 者)	来客数の動き	・悪い状態に逆戻りしている。新型コロナウイルス新規感染者数の増加や、プレミアム付食事券が使用できる居酒屋や小料理屋などで飲食し、使用できない当店への来店はなくなっている。
	×	旅行代理店(従 業員)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が爆発的に増加しており、7月19日以降、夏の団体旅行や企業における出張のキャンセルが相次いで発生している。
企業 動向 関連	◎	精密機械器具製 造業(財務担 当)	受注量や販売量 の動き	・特に大型の受注が増加している。
(北陸)	○	一般機械器具製 造業(総務担 当)	取引先の様子	・特に半導体関連を中心に好調なことから、他の製造業でもほとんどのメーカーが繁忙状態になっているようである。
	○	建設業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・公共工事の受注が順調である。

	○	税理士（所長）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染や、米国金利の利上げなどによる円安の影響がある状況下で、設備投資や消費において徐々に価格転嫁が進んでいるようである。新型コロナウイルス感染症の影響で需要がかなり止まっていたことから、潜在的な需要は十分あるというのが実感であり、実際に受注状況も改善に向かっている。
	□	食料品製造業（経営企画）	受注量や販売量の動き	・直近の売上は若干ではあるが前年割れの傾向である。第7波が到来しても人の動きは活発なままで、巣籠り需要による家庭用の消費が好調だった頃とは様子が異なる。市販用の商材は苦戦続きである。
	□	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・現在の受注量は、前年と比べて低くなっている。
	□	プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症対策の行動制限の緩和が進む一方で、半導体不足やウクライナ情勢の長期化に伴う供給制限、物流費や原材料費高騰の影響は大きく、引き続き厳しい状況が続いている。
	□	通信業（営業）	受注量や販売量の動き	・受注量に変化はないが半導体に起因する商品不足が続く、売上に影響を与えている。景気は悪くはないが、活気があるようにはみえない。
	□	司法書士	取引先の様子	・3月末が事業年度の企業における定時総会が終了したが、おおむね前年度と同様、若しくはやや良い内容のところが多い。
	▲	繊維工業（総括）	受注価格や販売価格の動き	・受注は引き続き堅調であるが、原材料価格の高騰に拍車がかかっており、収益環境が一層厳しくなっている。
	▲	輸送業（管理会計担当）	受注価格や販売価格の動き	・燃料費が高騰しているため運賃を引き上げたいが、競合の大手企業が物量確保を優先しており、消耗戦の様相を呈している。
	▲	金融業（融資担当）	取引先の様子	・原材料など経費の値上がりを価格転嫁できない状態である。また、1度は価格転嫁しても再度値上がりし、利益率が改善できない。一方では人手不足の問題も継続しており、会社運営は引き続き厳しい状況である。
	▲	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・一般消費者は家を建てることを控えており、不景気がかなり影響していると考える。
	×	—	—	—
雇用 関連 (北陸)	◎	—	—	—
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は、前年度と比較して増加が続いている。
	□	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・3か月前とほとんど違いがない状況である。
	□	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・とにかく人が来ないということに尽きる。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・求人数は増加傾向にあるが、応募者が少ないためマッチングが困難を極めている。
	▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大が第7波に入り、若干ではあるが会合やイベント等に延期の動きが見られる。ワクチン接種が進んでいるため、これまでのような混乱は起きていないが、2～3か月前と比較するとイベントの開催や広告出稿について慎重な姿勢が強くなっているようである。
	×	—	—	—